

週刊

釜ヶ崎労働報

'86年 2月17日

全国日雇労働組合協議会  
釜ヶ崎支部 釜ヶ崎日雇労働組合  
電話 06-632-4273

# 86春闘討論集会へ集まれ

本日(17日)夕6時半・市民館

## 仲間の団結へ、要求ボミドロに 「業者」を「掃」くべし

仲間たち!!

いよいよ春闘の季節だ。春闘は今年一年間の  
わしらの労働条件(賃金・給与等)を決める重  
要な闘いだ。

昨年8月春闘は、手配にこる全「業者」から、  
最低賃金八千円、最低世代(メニ代) 賃金代  
と諸経費一切をめぐり、千五百円以内をもちこ  
た。しかし、一部の建費のオチ「業者」も  
は、アツシの時期につけ込んで、賃金の切り下  
げ、個世代、賃金代などを減額した。時代のホ  
ッパコイを行っている。オチも同様に、年中の  
期末には、ウラでコソコソと減代千五百円に個  
世代三百円を減額して、合計千八百円をホッ  
タリしていた大正の補償を押し上げたことだ。  
こういつめからは、京師にも大正にも「業者」  
にきかされたこの。

わしらは、こつこつとオチ・ボッタクリ  
賃金条件取りのめがかりを、まず徹底的中かな  
ければならぬ。そして、今春闘の要求をきよめ  
金での入出し「業者」に、その要求をのま  
なければならぬ。

とりわけ、今春闘は、昨年六月臨時の国会  
で成立された「労働者派遣法」を「こ」  
闘闘闘空気の闘闘闘業へとりこす動員して  
こつこつと、巨額一中賃、専断独占の攻撃が  
強まる中での闘いだ。

また、山谷では、今年一月十三日の山谷労働  
組合の山谷同志会(同志)をめぐり、釜ヶ崎の派  
遣闘を年頭に、日本国労会全幹一家を徹底し  
一掃する闘いを闘っている。

仲間たち!! 今夕の春闘討論集会を成功させ  
要求をきかすべし!!

# 211 金町一家解体!

## 山谷現地三番五〇名びつり

仲間たち「ついでに」重慶記念の日に、  
 目撃者として先陣に、一五〇名の部隊で、山谷  
 の吉田場を制圧し、右翼ヤクザどもを二歩も  
 山谷に登場せよと叫び、ついにやみ殺した。我が  
 釜自労、重慶国は、10日の夕方市民館で集會  
 を行い、バス「勝利号」で山谷へ結集し、先  
 頭で斗い抜いた。

ついでに、重慶記念「ついでに」戦前  
 に「純元勝」として天皇のために闘ったくわ  
 んとついでに「ついでに」金町一家の  
 解散する日本國警察が、全国警察で山谷に登  
 場せんと騒ぎしていた。  
 わしらは、奴らの重慶を粉砕し、天皇手帳  
 右翼、金町一家を解体し、一掃するため、  
 山岡氏、佐藤氏、廣田氏にやり返すために、全隊  
 の全国警察でやり抜いた。  
 現地への出陣のついでに夜の市民

### 仲間にも暴力を振った神明の手配師を謝罪させた

館に自らの仲間が結集し、佐藤さん、山  
 岡さんが命をかけてつくり上げた陣地、  
 山谷一ゆられたらやり返せ」を上映し、  
 その後、金町戦をやり切り、反天皇・寄  
 け場重慶の陣地を組織作り、学生、被  
 差別民、くともこの陣地のための「反天皇  
 山岡、重慶国実行委（準備会）」の結成を  
 宣言した。

ついでに、ついでに、ついでに、仲  
 間から「神明の手配師  
 に暴力をふるわれた」と  
 知らされ、すぐにセ  
 ンターで会見している  
 ところをつかまえ、謝  
 罪させ、謝罪文をか  
 けた。

#### 手配師の謝罪文

釜崎労働者に対し暴力
をふるったことを謝罪し
今後二度とこのよなことは
いたしません
・今後暴力をふるった時は
釜崎労働者の手配を
いたしません
井原博史

二日は、山谷で、山谷重慶国、釜自労、世  
 目労、釜自労（準備）として山谷現地で、目  
 目からがんばっている釜からの重慶国の仲間  
 として反天皇、寄け場重慶を闘う支援の仲間  
 と合流し、朝6時に海蔵、重慶国に登場し  
 た。さらに夕方4時まで重慶国を甲心に制  
 圧し、地回り隊を組織して金町一家を滅亡し  
 た。奴ら右翼ヤクザは、わしらの登場の前に  
 一歩も山谷に登場できなかった。  
 この闘いの成果をともに、金町一家解体、  
 一掃して隊列を固め、命をかけた闘いと  
 てやりぬこう。